

別表 2

教育上必要な機械器具、標本、模型

教育分野		品 目	数量
専門基礎分野	人体のしくみ・疾病と治療	血圧計	10 人に 1 台以上 1 学級分
		○救急蘇生装置（AED）シミュレーター	1 台以上
専門分野	共通する機械器具	動画記録・再生システム	2 式
		音声録音再生装置	10 人に 1 台以上 1 学級分
		訓練教材（各種）	適当数
		コミュニケーションエイド（各種）	適当数
	失語・高次脳機能障害学/言語発達障害学	心理検査・言語検査用具（各種）	適当数
		発声発語・摂食嚥下障害学	音響分析装置
	○呼吸機能検査装置		1 台以上
	○発声機能検査装置		1 台以上
	人工喉頭		1 台以上
	発声発語器官検査・用具一式（鼻息鏡等）		適当数
	○舌圧計		10 人に 1 台以上 1 学級分
	リクライニング椅子またはベッド		1 台以上
	酸素飽和度測定器		10 人に 1 台以上 1 学級分
	吸引装置一式		1 台以上
	○内視鏡		1 台以上
	聴覚障害学	オージオメータ（J I S 診断用 I 型）	10 人に 1 台以上 1 学級分
		○聴性誘発反応検査装置（ABR、ASSR を含む）	1 台以上
		幼児聴力検査装置（COR 検査、PS 検査等が可能なもの）	20 人に 1 台以上 1 学級分
		○耳音響放射検査装置	1 台以上
		インピーダンスオージオメータ	20 人に 1 台以上 1 学級分
補聴器（数種類）		適当数	
補聴器特性測定装置		20 人に 1 台以上 1 学級分	
人工内耳マッピングシステム		1 台以上	
騒音計		20 人に 1 台以上 1 学級分	
○重心動揺計		1 台以上	
標本及び模型	フレンチェル眼鏡	1 台以上	
	人体解剖模型	1 台以上	
	聴覚系解剖模型	1 台以上	
	発声発語・嚥下系解剖模型	1 台以上	
	神経系解剖模型	1 台以上	

備考

○を付けたものについては、臨床実習施設において使用できる場合には、養成所に備えることを要しないこと。